

櫛部 海音さん

University of Veterinary Sciences Brno (Czech Republic)

Major: Veterinary Medicine

私は高校一年生の時にカナダへ留学をしました。高校2年生でカナダから戻って大学は海外に行きたいと漠然とっていました。英語をもっと伸ばしたいという気持ちがあって、留学後に高校を転校しました。英語を中心に学ぶ学校のカリキュラムの都合上、理数系を受験するには欠かせない生物と化学は受講しないコース選択となりました。幼いころにパピーウォーカーという盲導犬候補の子犬を育てるボランティア活動をしたことで出来た一つの夢は獣医になることでしたが、その夢は叶うことがないんだと諦めていました。そして留学後に新しく出来たもう一つの夢を叶える為に、海外への大学進学への情報集めをしていました。アメリカ、カナダ、オーストラリアなど日本からの留学メジャーな国ではなく、ヨーロッパに行きたいと思っていましたが、ヨーロッパの大学に進学する情報はあまりにも少なく自分では限界がありました。そんな時に出会ったのは美和さんでした。美和さんに出会った頃は、ビジネス系の学部に行きたいと言っていたのですが、美和さんとのカウンセリングの中で私のあきらめていた夢が獣医であることを美和さんが知り、改めて自分は動物も人間も幸せにできる獣医さんになりたいということを確認しました。高校で留学するために理系ではなく文系のコースに通っていたので、獣医は無理だと思い込んでいましたが、美和さんが「ヨーロッパなら獣医学部もいけるよ」と教えてくれました。そのことを聞いた時 私はそんなことが可能なんだと驚きました。

美和さんはヨーロッパ中の獣医学部から生物・化学を履修していなくても出願できて、英語で授業をしている大学を見つけてくれました。すぐさま、学校で私の進路担当をしている先生にそのことを伝えました。その時、私は獣医学部に行きたいけど国はどこでもよいと思っていました。また、美和さんがリサーチしてくれたということを（学校の先生には）人任せに大学を決めていると判断されて「私は真剣に大学探しに取り組んでない。」という風に言われてしまい、進路担当の先生からは他の大学、学部を勧められ、私には獣医学部は無理と感じるようなことを言われてしまいました。

その後、学校の進路担当の先生が変わり、美和さんが調べてくれた準備コースで一生懸命頑張りました。学校の勉強と並行して生物と化学を母国語ではなく、英語で学ぶのはとても大変でした。他の生徒より高校三年間の遅れがあり、その分の勉強を約半年で勉強するのはとても苦しかったです。あまりにも難しくて途中で何度も挫折そうになりました。また、友達が次々と大学に進学していき、不安な気持ちが募っていきました。焦る気持ち、挫折するかもしれないという不安な気持ちとの葛藤の日々でした。そんな時も美和さんの励ましで何とか自分を取り戻し再度頑張りが続けることが出来ました。

試験の結果が出るまで本当に不安でしたが合格が決まった今は自分を信じて、また私を信じて応援してサポートしてくれた美和さんのおかげだと確信しています。

この私の体験談を読んでいる皆さんはヨーロッパの大学に進学を検討しているが、どうしてよいか分からないとか学校の先生に私のように分かってもらえなかったりしているのではないかと思います。ヨーロッパの大学進学を否定した私の進路指導の先生は情報をもっていなかっただけで、正しい情報を知ればあんな風にはならなかったのだと思います。受験では不安に駆られ、焦りを感じる時がたくさんあります。また、辞めたくなくなることや辛いこともたくさんあると思います。ですが、最後の瞬間まで、自分を信じて諦めないで頑張ってみてほしいです。後悔するなら、やる前に諦めて後悔するよりも、挑戦してみて後悔してほしいです。

獣医学部への合格は幼いころからの夢をかなえる為の一つ目の挑戦です。その先にはもっと大きな挑戦が待っています。しかし、目標達成への強い意志があればきっと大丈夫。自分を信じていれば、チャンスが巡ってきてどんな困難も乗り越えていけます。獣医師として働くことは私の夢であり、この夢を実現するためにも頑張ります。